



堺フェニックスロータリークラブ
SAKAI PHOENIX Rotary Club

D2640

▶ 四つのテスト

～言行はこれに照らしてから～

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

地区ガバナー 久保 治雄
会長 中井 昭宏
幹事 松田 香純
会報委員長 中井 崇嗣

▶ クラブ事務所

〒590-0021
堺市堺区北三国ヶ丘町1-1-16
C-17号
TEL:072-227-4990
FAX:072-227-4991
例会日:毎週木曜日 18:30～
例会場:第一週・ホテル第一堺
二週目～・茶房カオル
<http://www.sakaiphoenix.com>

第773回例会

通巻739号

平成25年8月22日

2013-2014年度No.7

第772回	2013-2014年度	第7回目
8月22日	18時30分	茶房 カオル
開会点鐘	会長 中井 昭宏	
ローターソング	堺フェニックスRCの歌	
会長の時間	会長	中井 昭宏
幹事報告	幹事	松田 香純
委員会報告	青少年奉仕委員会	内藤 絵梨奈
クラブフォーラム	国際奉仕について	
	奉仕委員会委員長	中野 一郎
ニコニコ報告	副SAA	濱田 由美
出席報告	副SAA	仲峯 豊
閉会点鐘	会長 中井 昭宏	
8月29日	クラブフォーラム 青少年奉仕 担当 内藤 絵梨奈	
9月5日	卓話 青少年プロジェクト ガバナーエレクト仕 秀和様	
9月8日	インターアクト国際交流会 場所 桃山学院大学	
9月8日	全国ローターアクトの日 場所 南海グリン	

地域社会のために

国際ロータリーの本部は、アメリカ・イリノイ州エバンストンに本部を置く組織で、200以上の国と地域に、約3万3,000のロータリークラブがあり、約120万人のロータリアン（ロータリークラブ会員）がいます。

日本には、約2,300のロータリークラブがあり、約9万人のロータリアンがいます。ロータリアンたちは、それぞれに職業を持ち、職業倫理を重視し、また、それぞれの職業を通して、さまざまな活動をしています。

ロータリークラブでは、そのクラブがある地域社会のさまざまなニーズを検討し、地域の人たちとともに、地域社会のために、地域社会に根差した、さまざまな活動をしています。

例えば、子どもたちのために、スポーツ大会やスポーツ教室を開催したり、学校で自分たちの職業の体験談を話したりしています。地域の環境保全のために、植樹をしたり、川や海岸などの掃除をしたりしています。地域の人たちが興味をもっているようなテーマで講演会を開催することもあります。

2011年3月11日、東日本大震災が発生した直後から、ロータリアンは被災した人たちの緊急支援に動きまわりました。国内はもとより、世界中のロータリアンやロータリークラブが支援をしました。時がたつに従って、その支援は、緊急支援から、長期的な支援へと変わってきています。



2013-14年度 RI会長 ロン・バートン(Ron D. Burton)

Engage Rotary, Change Lives

ロータリーを 実践し みんなに 豊かな人生を





本日のお弁当は 割烹 貴船
さんにお願ひしました。



会長の時間
中井昭宏 会長



本日は社会奉仕プロジェクトの一つである、チャリティーコンサートにご参加頂きありがとうございました。

子どもの発達を支援することを目的に開催されました。

障害のある子どもや、さまざまな発達上の問題のある子どもが自分自身の能力を最大に伸ばし、発達の基礎を築き、社会適応能力を身につけることができるように、一人ひとりの発達の状態に合わせた専門的な療育訓練と保育のため、家族の愛情とゆとりある接し方が、子どものすこやかな発達には欠かせません。家庭での子どもの適切な発達援助を助言し家族みんなで楽しむことができる行事やレクリエーションを行い、家族への支援、子どもが地域社会の中でいきいきと育っていけるよう、地域に向けて啓発活動を行う目的のためです。

すばらしいバイオリンの音色でしたね。いかがでしたか。当クラブのクリスマス例会で、ぜひ小野会員と犬伏会員の演奏を聴かせて頂けたらと思っております。

でわまもなくクラブ事務所に到着いたします。本日はお疲れ様でした。

「ストラディヴァリウス
チャリティー・コンサート」を聴いて
小野晃範

良い音楽をナマで聴くことは心への何よりのご馳走になると思う。

8月8日の移動例会には三田市総合文化センターで私たちはストラディヴァリウスの演奏を聴くというまたとない機会に恵まれ、感動と至福の夕べを過ごすことができたことはまことに幸いであった。企画された関係者に心から感謝の意を表します。

1710-1725年はストラディヴァリの最も円熟した黄金期と言われ、1717年製作の「サセルノ」はストラディヴァリの円熟期（71才）に製作されたヴァイオリンである。

300年という熟成期間を経たこの名器が持つ音色を余すことなく引き出して聴かせてくれたのはアリーナ・ポゴトスキーナさんという、目下国際的に大活躍中の一流のバイオリニストである。

ストラディヴァリウスは楽器自身が既に音楽を持っていると言われるが、彼女の天性の美しさに加えてバレリーナのように長く素晴らしい腕が、しなやかに、軽やかに只律動するだけで、芳醇にして奥深い音が会場の隅々に届き、聴く者ひとりひとりのために演奏されているかのように私たちの魂は魅了され尽くした。

1ミリの狂いもない高度で精緻な指の動きから奏でられる5つの演目の演奏は、作曲者が意図する芸術性を見事に表現し、そして天女の舞いを眺めているかのような感動的な時間を私たちは堪能することができた。

最後は会場を埋め尽くした約1000人の聴衆者に応えるアンコール曲にチャリティーコンサートに相応しいクライスラーの「愛の喜び」が演奏され、満場の拍手は鳴りやまなかった。

幹事報告
松田香純 幹事



8月のロータリーレートは100円となっております

クラブ会費がまだ振込されていない方は、入金をお願いします。

最後は会場を埋め尽くした約1000人の聴衆者に応えるアンコール曲にチャリティーコンサートに相応しいクライスラーの「愛の喜び」が演奏され、満場の拍手は鳴りやまなかった。



アントニオ・ストラディヴァリについて

(Antonio Stradivari 1644-1737)

イタリア北西部の聖地クレモナで活動した弦楽器製作者。弦楽器の代表的な名器であるストラディヴァリウスを製作したことで知られる。ニコロ・アマティに師事し、16世紀後半に登場したヴァイオリンの備える様式の完成に偉大な貢献をした。ヴァイオリンやヴィオラやチェロなど約1,100挺の楽器を製作したとされ、現在約600挺の存在が確認されている。

アンドレア・アマティ (1505~1577)

2人の息子

アントニオ・アマティ (1540-1607)

ジオラモ・アマティ (1548-1630)

ニコロ・アマティ (1596-1684)

ジオラモ・アマティの伝統からかけ離れた偉大なクレモナの栄光を築き、16世紀から18世紀にかけてヴァイオリン制作の偉業を継承させた功労者。

2人の弟子

アンドレア・グアルネリ (1623-1698)

アントニオ・ストラディヴァリ (1644-1737)

クレモナーゼ (最高傑作 1715)

黄金期 (1700~1720) (56~76才)

おわりに私ごとを述べてまことに恐縮ですが、バイオリンは魔性の楽器ともいわれるくらい人を惹きつけて止まない音を出す。75才からという遅すぎる手習いだがこの楽器に魅せられて始めてしまった。バイオリンが弾けると言えるには5000時間の練習を経なければならぬと言われている。ようやく1000時間位の私としては弾ける等とはおこがましくて言えない。初心者用の練習曲であれクラシックを自らで弾く時は神と対話する気持ちになれる。その意味でもバイオリンの練習は長寿のためのよき健康法だと考えている昨今である。

「ストラディヴァリウス

チャリティー・コンサート」を聴いて

犬伏幸代

ストラディヴァリウス チャリティー・コンサートはアリーナ・ポゴトキーナさんに日本音楽協会から貸与されているストラディヴァリウス1717年作製ヴァイオリン『サセル』を使用して行われました。

ここで少しストラディヴァリウスのことを考えてみることにする。ラテン語形ではストラディヴァリウスですがここからストラディヴァリと呼ぶ、ストラディヴァリといった場合は、大概、アントニオ・ストラディヴァリ (1644-1737年) の事を指す。彼は若い頃イタリアのクレモンテで有名なヴァイオリン製作者であった。ニコロ・アマティのもとで修業をし影響を受けたとされている。やがて独自のスタイルを確立し楽器製作は1700-1720年頃に頂点を迎え、その後90歳を超え亡くなる直前まで優れた楽器

を作り続けた。彼に楽器がこように特別な存在になったのは19世紀以降のことである。従来の演奏は小さな会場で貴族らに限られていたが市民社会の成熟と並行し、より多くの人のためにと大きな会場で行われるようになった。そこで音が届く、力強い音をもつストラディヴァリの楽器が必要になったのである。その後、多くのヴァイオリニスト達に求められ非常に高値で取引される楽器となりました。

移動例会ありがとうございました。

ストラディヴァリウス

チャリティー・コンサート移動例会

周 雯

8月8日堺フェニックスRCの移動例会ーストラディヴァリウス チャリティー・コンサートの鑑賞に参加させていただきました。コンサートは日本音楽財団の協力によりチケット売上金は全額「さんだ子ども発達支援センター」の活動資金として使用するために、移動例会の参加により社会奉仕にもつながっている形になり、とても有意義の活動でした。

最初の第一曲目、第二曲目はブラームス：ヴァイオリン・ソナタ 第1番「雨の歌」とチャイコフスキー：「懐かしい土地の思い出」より「メロディー」は、やや穏やかでやさしい曲でした。第三曲目サン＝サーンス：序奏ロンド・カプリチオーソはヴァイオリンは超絶技巧の曲であり、演奏者アリーナ・ポゴトキーナの高い技を見ていただきました。左指の驚異的な速さで煙の立ちそうな動きと連続スピッカートなど情熱的なパフォーマンスで、会場の皆様は一気に盛り上げてきました。次の第四曲目ブラームス：「F. A. Eソナタ」より「スケルツォ」は引き続きハイテンションの曲で、会場の雰囲気は最高「ハンガリー舞曲集」の第1番と第7番は落ちづく一曲と軽快の一曲でコンサートが見事に終わりました。

移動例会のおかげで、たぶんこの一生に一回しか見られない1717年製の何億のヴァオリンを見て、その響きが今でも耳に残っています。コンサートを終えた後、すばらしい演習に感動する以上、演奏者アリーナ・ポゴトキーナの30歳の若さにびっくりしました。インターネットで彼女のプロフィールを調べると、4歳からヴァオリンを習い始め、1994年11歳の若さでルートヴィヒ・シュポア国際ヴァイオリン・コンクールの第1位に輝いていまして、まさか天才的なヴァオリン演奏者です。しかし、天分に恵まれても、努力しない成功にはたどり着かないと思います。私たち見てたのはアリーナ・ポゴトキーナさんのすばらしい演繹でしたが、彼女はどれ

だけ練習して、どのぐらいの挫折をしてきたのを知りませんでした。彼女を見てこの間同じ大学出身のトランポリン競技日本一十連覇の廣田遥を思い出しました。廣田遥の公演の時、こういう話がありました。廣田さんはトランポリンをやり始めた時点は一般の人より遅く14歳の時でした。あの時部活で同じ年の友達は彼女のレベルを大幅に上回り、彼女は部活の指導教員と相談してた時に、教員から「自分は本当に好きなことをすれば、人より十倍以上の努力を重ね、きっといつか人十倍以上の成果を出せる」と励んでくれました。その日から廣田さんが本当に人より十倍、二十倍の努力を重ね、こつこつと頑張っていて、気を付けば日本代表としてオリンピックの舞台に立ち、十年連続で日本一の位置を確保することまで成功しました。アリーナ・ポゴストキーナと廣田遥の共通点は若い時から自分の好きなことを見つけて努力を重ね、心の底に潜んでいるポテンシャルを引き出せ、自分の生き甲斐を生かすことができました。こういうふうを考えれば、ロータリアンの皆様もそうではないでしょうか。すばらしい事業を操った上に、ロータリーという組織に入り、自分の生き甲斐を社会の奉仕につながり、自分自身の幸せよりも社会にどういふふうにご貢献できるのかを中心に仕事をすすんでいるのではないのでしょうか。社会に有意義の活動を行えば、社会からも認められ自身の事業にも反映するという好循環になっていきます。ロータリー米山記念奨学生になりまして、さまざまな分野で優秀なロータリアン達と出会え、皆様は仕事や性格などがそれぞれでありながら、奉仕の心を持ち集まってきた優秀な仲間とでポリオへの支援から世界の平和まで社会への貢献を重ねてきて、この五ヶ月の間、ロータリーのすばらしさを楽しみ感じていました。いつか私も自分の夢を叶え、日中の関係や社会の平和につながる奉仕ができるように頑張りたいと思います。

コンサートは一時間しかない短い時間ですが、心の中に今でも響くのは夢のためへの努力でした。天才ではない私はこれからも相変わらずこつこつと努力を重ね、いつか皆様と同じく社会への奉仕を生き甲斐として活動できることを目指して頑張ります。

出席報告

在籍者	32名	出席者	27名
出席計算会員	31名	欠席者	11名
出席免除会員 (小林)	1名	免除出席者	0名
先々週修正出席率	70.96%	出席率	64.52%

Make-up報告

中井 昭宏	11日	青少年交換ROTEX会議
上田 俊夫	11日	函館亀田RC

欠席報告 (8月8日)

仁木 順子	仕事のため (Make-up済)
金谷 昌信	仕事のため (Make-up済)
片岡 富美子	仕事のため
河野 強	仕事のため
京谷 知明	仕事のため
田辺 弘樹	仕事のため
田中 範子	仕事のため
中野 一郎	仕事のため
片木 修	仕事のため
吉川 美幸	仕事のため



このような、すばらしい音楽を聴けたことは
参加された人の心に残った音色である。